

第1回 市民ワークショップ

「将来の戸隠をどんな地域にしたいか」

をテーマにグループ作業を行いました

6月10日(日)戸隠支所で「地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

長野市や戸隠地区の公共施設の現状や課題などの説明や、今回のワークショップに参加する信州大学工学部寺内研究室の学生のみなさんから事前に視察した地区内の主な施設の発表を聞いたあと、地元26人のメンバーと学生のみなさんでグループワークを行いました。

各グループで「こんな戸隠をつくりたい」「将来の地区のために必要な施設」をふせんに書いて討議し、そのまとめを発表していただきました。

終了予定時間を過ぎるほど、討議が盛り上がった回になりました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



グループ作業の様子 熱心に話し合っていました

信大生のみなさんの発表の様子
外からの視点、若者の視点で
施設の感想や使い方の提案をいただきました



今後の予定

内容(予定)

会場

第2回

7月8日(日)
14:00-16:00

◇グループ討議 テーマ
～戸隠の公共施設の課題と、その解決方法を考える～

戸隠支所
(2階大会
議室)

最終回

8月19日(日)
14:00-16:00

◇グループ討議 テーマ
～戸隠の公共施設の将来像を考える～
◇発表、まとめ

◇途中からの参加も可能なワークショップです。見学のみも大歓迎！事前申し込み不要です。ぜひ会場にお越しください。

◇長野市公式ホームページ
「公共施設マネジメント推進課」に
当日の資料などを
掲載していますので、
ご覧ください。



【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

戸隠支所

電話:224-7592

電話:254-2323



《ワークショップの目的》

公共施設マネジメントの考え方にご理解いただくとともに、公共施設見直しの計画策定前の段階から、市民の皆さまと市と一緒に考える地域の公共施設に関する試みです

人口減少時代の中、地域の賑わいや活力あるまちづくりにつながる施設の集約化、多世代交流を生み出す複合化・多機能化など、様々なアイデアを公共施設再配置計画の参考にしたいと考えています

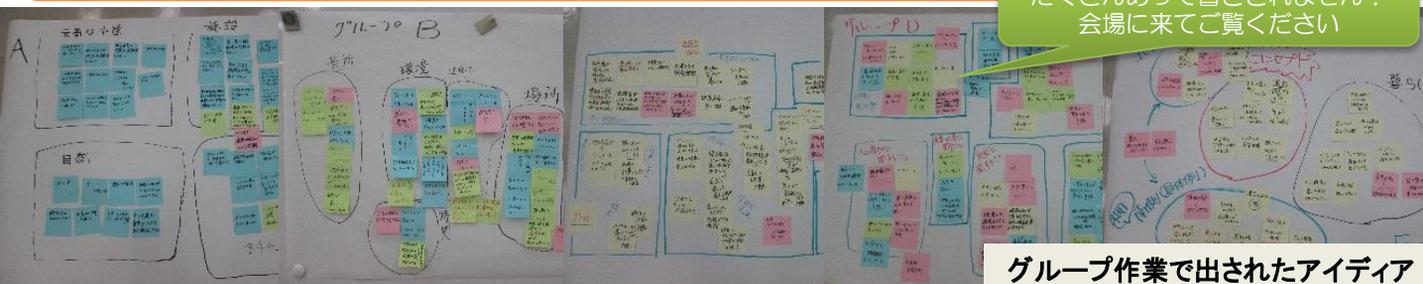
各グループの発表の一部を紹介します



【戸隠の将来、こんな地区を作りたい】【将来の戸隠のために必要な施設はなんだろう】

- ◇年を取っても安心して生活できる地区 → ○楽しいバス停、交通の確保
 - ◇若者を呼び込むための工夫を 人が集まれる場所が必要、今ある施設を利用できないか
→ ○若者が住みやすい低家賃住宅、体育館を利用したボルダリング施設
 - ◇「文化・ブランド」「自然」「農業」を生かした地域
→ ○空き家を利用した民泊施設、牧場・そば博物館を山村体験の場に
 - ◇戸隠ファンに長期滞在、地元との交流をもってもら、暮らし体験
→ 草刈りで高原野菜プレゼント、給食センターの給食活用
○人と人との交流機能を兼ねた施設
 - ◇地区内の北と南をつなぐ 地区外の人との交流をもっと増やす
→ ○とんくるりんをオールシーズンの観光拠点に、化石博物館にサテライトオフィスを
- ※◇作りたい地区 ○必要な施設

たくさんあって書ききれません！
会場に来てご覧ください



グループ作業で出されたアイデア

参加者アンケートから

- ◆世代分けグループ、おもしろかったです。
- ◆時間が短いため、十分に言いつくせない。より良い話ができない。
- ◆いろいろな立場の方の意見を聞いて、改めて、戸隠の良さ、問題点を考える機会になった。
- ◆若い人の考え方、意見を聞いてみたい。中高生達の意見も期待する。
- ◆もっと多くの住民に参加してもらえたらいいと思いました。 などなど・・・

アドバイザーの寺内紀美子先生(信州大学工学部准教授)のコメントを紹介します

- 広い地域なので、ばらばらな意見が出るかと思っていたが、意外と皆さんの目的と意思が共通しているところが多いと感じた。
- ワークショップではいろんな自分の意見をざっくばらんに話していただくのが大切だが、皆さん積極的に意見を出していた。初回として大成功。
- いろんな課題、出てきた意見に対して、何か一つ優先順位をつける(重みづけしていく、選択していく、重要視するテーマ、重点的に取り組みたいことを明確化する)ことが大事だと思います。
- 何か一つ突破口を見つけて考えていくと良い。次回もがんばってください。

